



江工会関東支部の皆様へ

幹事A40 河野 一史

E47 千代延 武

霧雨の軽井沢駅より、バスに乗換え「峰の茶屋」で下車、見上げる小浅間山は濃いガスに覆われ中腹より上は何も見えず登頂を断念。

雨具に着替え信濃路自然歩道に入り、新緑のミズナラ、シラカバ林のなだらかに下る道を、1時間程歩いた頃眼下に白糸の滝が見えました。

急な丸太階段を下ると浅間山の伏流水が4年掛って岩壁から湧き出し、幅70m高さ3mから無数の白糸のように落ち、マイナスイオンに溢れて居ました。

小雨の中親切なお店の好意でテントを借り昼食にしました。

此々からは湯川に沿って並行する自然道を辿り、雨も上がり、青空が見えて太陽の光に新緑がきらめき、風はさわやかになり、途中竜も近づけないと言う「竜返しの滝」に近寄り、高さ10m水量も多く爆音を響かせて居りました。

自然道に戻り湯川に架かる橋を渡り「小瀬温泉ホテル」に到着。

国有林に囲まれた山の中の一軒家。早速お風呂にゆっくり浸り足腰の疲れを癒し、夕食まで時間があるので部屋で乾き物をあてにビールで乾杯。

夕食時は「山崎ていじ君」のスケジュール表、イベント情報、石見地方の方言集のコピーを着に御馳走を食べつくし楽しい一時を過ごしました。

翌朝は一番で朝食を頂き、タクシーで行き「峰の茶屋」バス停の小浅間山登山口よりスタート、青空の下若葉のトンネルを抜けカラマツ林を経て浅間山分岐に着く。

此々からは車もまばらな砂礫の急斜面を登る。少し進んで振り返ると浅間山が見える。上へ上へと登りつめ「小浅間山」山頂に到着。

目の前に広がる浅間山の大パノラマに感動、しばし立ち尽くしました。

快い風が火照る身体を醒ましてくれました。

下りは隣の小ピーフ経由して登山口に戻り、西部高原バスに乗り、星野温泉トンボの湯で下車、近所のそば処で昼食を頂きました。

軽井沢野鳥の森に入り、砂利道を進むも一向に公園らしき所に遭遇せず、通り掛ったドライバーに聞くと、此の道は昨日泊まった小瀬に向かって居るとの事。

往路を戻り、バードウォッチは諦めシャトルバスで軽井沢駅に戻り、長野新幹線で帰路に着きました。



参加者：福間(P35)岸(C37)河野(A40)千代延(E47)

鍛冶(M47)福田(A51) ～平成 27.05.28～